

2015年1月28日

## UR 都市機構・山田町 CMJV 工事事務所殿向け 移動式破碎機

(C125B スキッド)が山田病院建設予定地復興工事現場で稼動開始しました

東日本大震災により発生した津波で流された山田病院(岩手県山田町)の、高台への新規移転建設に伴う掘削造成工事の現場において、当社の移動式破碎機(C125B スキッド)が稼動開始いたしました。

震災で甚大な被害を受けた同町においては、復興の根幹事業である山田町高台移転事業が、13年5月からUR 都市機構殿および山田町 CMJV 殿により開始され、当社も本事業に参加しております。

本件では、掘削造成の段階で建設予定地の地盤が非常に圧縮強度の高い硬質岩盤層であることが判明し、一時工事の着工が危ぶまれる事態となりました。そこで当社より移動式破碎機の導入を提案させて頂き、計画立案から導入まで約1ヶ月という短期間の中、関係者が一丸となって取組んだ結果、初期トラブルもなく順調に稼動の運びとなりました。

UR 都市機構殿には当社の移動式破碎機の能力を高く評価頂き、近郷で同様な問題を抱えている陸前高田市の復興現場においても、現在導入に向けてご検討頂いております。

山田町の復興工事は14年度4月から本格化しており、まだまだ道半ばではありますが、当社では、永年培ってきた技術と製品で東北の復興の一助になれるよう、今後共尽力して参ります。



予定地にて掘削された大岩塊



稼働中の当社の破碎機